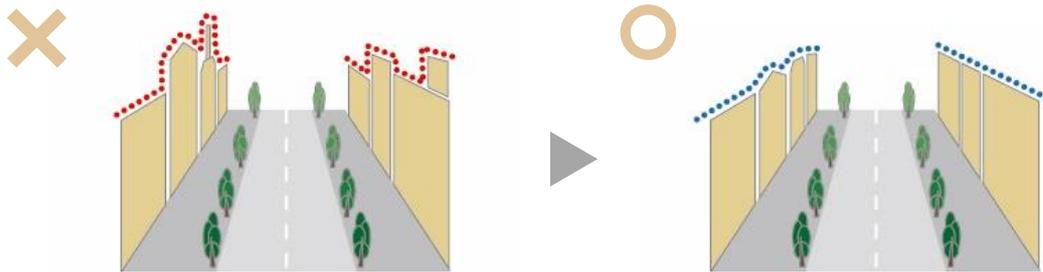


2. 屋根の形態意匠及び素材

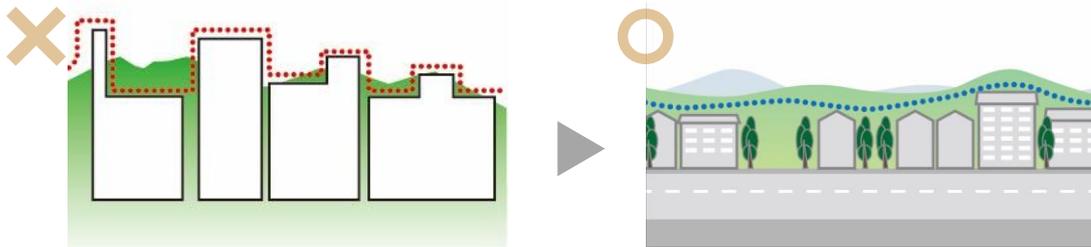
屋根の形態意匠は、周辺の景観との連続性に配慮してください。

住商工 周辺と調和する屋根の意匠形態に努める

住商工 遠景として見た場合にも、周囲に馴染む、すっきりとしたスカイラインになるよう考慮する



すっきりと整ったスカイラインをつくる



自然の線形にならった美しいスカイラインをつくる



建物高さを周囲と合わせることで連続したまちなみを創出している例



背景の緑を分断しないよう建物高さが抑えられている例

▶▶▶ 戸建住宅地の屋根

屋根形状、屋根方向を隣接する建物と統一することで、連続したまちなみを創出できます。

屋根はできるだけ勾配屋根を採用し、やむを得ず陸屋根とする場合は、周辺の住宅と屋根の形状を調和させ、ゆるやかなスカイラインを形成できるよう工夫しましょう。



住 周囲と調和する落ち着いた印象の素材とする 商工 周囲と調和する素材とする

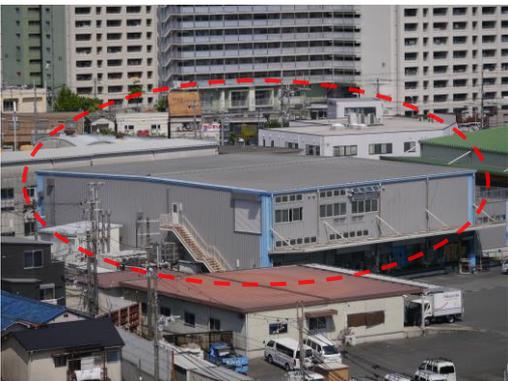


勾配屋根の素材と色調が周囲に馴染んでいる例



光沢のない濃い灰色を用いている例

工 金属系の屋根材は光の乱反射が起きないように、仕上げ方法などに配慮する



金属板を屋根材として用いる場合は、光沢のない濃い灰色・黒色などを用いるようにしましょう

▶▶▶ 維持管理をしましょう

建物は出来上がった時は美しいものですが、メンテナンスをしなければ、次第にその美しさは失われてしまいます。

適切な維持管理を十分に行うことによって、良好な景観を保ちましょう。

